

# 秩父往還の歴史

秩父多摩甲斐国立公園

雁坂峠と雁が越え、人々が歩いた日本最古の峠道

三伏峠（南アルプス 二、五八〇メートル）針ノ木峠（北アルプス 二、五四一メートル）とともに日本三大峠のひとつである雁坂峠（二、〇八二メートル）の歴史はふるく日本書記景行記に日本武尊が蝦夷の地平定のために利用した道と記されていることから、日本最古の峠道といわれています。

また、縄文中期の遺物や中世の古銭類なども数多く出土している他、武田信玄の軍用道路・甲斐九筋のひとつとしても知られています。

さらに秩父往還とよばれたこの道は、秩父観音霊場巡拝の道として多くの人々が通り、江戸時代から大正までは秩父大滝村の繭を塩山の繭取引所に運ぶ交易の道として利用されてきました。

一般国道一四〇号となった現在は、奥秩父をめざす山道として秩父多摩国立公園の豊かな自然とともに登山者に愛されています。

雁坂峠の名は、このあたりが雁の群れの山越えの道であった事に由来しているとも伝えられています。

雁が越え、昔人が越えた雁坂峠。

ここには美しい自然と遠く長い歴史があります。



環境庁・埼玉県